



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社ファインセンター 上場取引所 東・名
 コード番号 5994 URL https://www.fine-sinter.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 洋一
 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355
 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,609	△29.0	△1,345	—	△1,385	—	△1,178	—
2020年3月期第2四半期	20,562	5.0	436	△27.6	275	△47.9	26	△83.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △906百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △196百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△267.84	—
2020年3月期第2四半期	6.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	45,861	17,243	32.9	3,431.34
2020年3月期	46,817	18,431	34.8	3,704.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,101百万円 2020年3月期 16,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	△18.9	△800	—	△500	—	△600	—	△136.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,420,000株	2020年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	19,061株	2020年3月期	19,035株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	4,400,954株	2020年3月期2Q	4,401,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間(3カ月間)での売上高は8,862百万円(前年同四半期比14.2%減)、営業利益は371百万円(前年同四半期比68.9%増)となり、第1四半期連結会計期間に比べ、売上・利益とも大幅に回復しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,609百万円と前年同四半期に比べ5,952百万円(29.0%)の減収、営業損失は1,345百万円、経常損失は1,385百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,178百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、第1四半期連結会計期間は新型コロナウイルス感染拡大に伴う、自動車関連メーカー各社の操業停止及び稼働調整の影響等で前年同四半期に比べ48.3%の減収となったのに対し、当第2四半期連結会計期間は11.9%の減少まで回復しました。当社グループとしては、休業日設定を含む稼働調整や省人及び固定費圧縮等の収益構造改善に取り組みました。

鉄道車両用部品につきましては、新型コロナウイルス対策に伴う減便による交換需要減の影響はあるものの、新幹線用ブレーキライニング及び新幹線用すり板の搭載車両増加により、ほぼ前年同四半期並みの売上を確保しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,972百万円と前年同四半期と比べ5,604百万円(28.6%)の減収となり、セグメント損失につきましては、525百万円と前年同四半期と比べ1,780百万円の減益となりました。

②油圧機器製品事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、第1四半期には画像診断機器用で売上増があったものの、主力であるデンタルチェア用製品は、アジア向けの売上が大幅に落ち込み、北米向けも回復が緩やかなものとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は632百万円と、前年同四半期と比べ348百万円(35.5%)の減収となり、セグメント利益につきましては、115百万円と前年同四半期と比べ164百万円(58.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末比861百万円減)、商品及び製品の減少(前会計年度末比118百万円減)等により、17,030百万円(前連結会計年度末比981百万円減)となりました。固定資産につきましては、減価償却等による有形固定資産の減少(前連結会計年度末比399百万円減)の一方、株価回復に伴う評価額の上昇による投資有価証券の増加(前連結会計年度末比107百万円増)、四半期特有の会計処理による繰延税金資産の増加(前連結会計年度末比298百万円増)等により、28,831百万円(前連結会計年度末比25百万円増)となりました。

以上により、資産合計は45,861百万円(前連結会計年度末比955百万円減)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少(前連結会計年度末比305百万円減)、電子記録債務の減少(前連結会計年度末比903百万円減)、営業外電子記録債務の減少(前連結会計年度末比429百万円減)、その他の減少(前連結会計年度末比421百万円減)の一方、新型コロナウイルスのリスクへの備えとして短期借入金の増加(前連結会計年度末比2,254百万円増)等により、18,571百万円(前連結会計年度末比25百万円増)となりました。固定負債につきましては、国内新規品用設備等の資金として長期借入金の増加(前連結会計年度末比214百万円増)等により、10,046百万円(前連結会計年度末比206百万円増)となりました。

この結果、負債合計は28,617百万円(前連結会計年度末比232百万円増)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が1,354百万円減少、その他の包括利益累計額は154百万円増加したものの、非支配株主持分を除くと15,101百万円(自己資本比率32.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年7月30日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内自動車部品における需要回復のペースが当初想定より速く、固定費圧縮等の収益構造改善効果もあり、予想を上回る売上高、利益となったものの、年度末にかけて新型コロナウイルス感染再拡大の懸念等、引き続き先行き不透明な状況が続くこと、また、鉄道車両用部品におきましても、得意先の減便等による影響で売上減が見込まれるため、2021年3月期の通期連結業績予想を据え置きとさせていただきます。

当社グループにおきましては、従業員感染防止策の継続をしつつ、固定費圧縮と並行して、HV用インバーター部品の増産や生産拠点の集約による効率化、自動化やムダの排除による省人などを着実に進め、今年度下期の収益確保に取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,527,645	4,547,888
受取手形及び売掛金	6,618,879	5,756,950
電子記録債権	1,261,895	1,151,100
商品及び製品	1,153,928	1,034,951
仕掛品	1,629,031	1,749,919
原材料及び貯蔵品	2,530,884	2,439,090
その他	289,148	350,103
流動資産合計	18,011,414	17,030,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,475,651	13,571,860
減価償却累計額	△8,380,075	△8,557,371
建物及び構築物(純額)	5,095,576	5,014,489
機械装置及び運搬具	47,435,479	48,077,026
減価償却累計額	△35,167,862	△35,927,112
機械装置及び運搬具(純額)	12,267,616	12,149,914
工具、器具及び備品	5,783,991	6,079,820
減価償却累計額	△4,717,589	△5,136,795
工具、器具及び備品(純額)	1,066,401	943,025
土地	3,537,447	3,523,383
リース資産	1,165,193	1,234,085
減価償却累計額	△468,139	△507,152
リース資産(純額)	697,054	726,932
建設仮勘定	2,429,194	2,336,354
有形固定資産合計	25,093,290	24,694,099
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	45,788	32,894
その他	344,588	399,487
無形固定資産合計	401,785	443,789
投資その他の資産		
投資有価証券	1,720,689	1,827,818
長期貸付金	8,264	9,348
繰延税金資産	1,486,242	1,784,968
その他	95,589	71,451
投資その他の資産合計	3,310,786	3,693,588
固定資産合計	28,805,862	28,831,477
資産合計	46,817,276	45,861,481

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,762,531	2,456,638
電子記録債務	2,635,904	1,732,837
短期借入金	7,065,378	9,320,000
1年内返済予定の長期借入金	1,813,115	1,929,897
リース債務	126,526	125,632
未払法人税等	234,171	52,362
未払消費税等	162,616	88,784
未払費用	643,865	704,292
賞与引当金	922,381	988,712
役員賞与引当金	46,593	18,947
設備関係支払手形	162,983	33,584
営業外電子記録債務	1,012,806	583,387
その他	957,583	536,461
流動負債合計	18,546,457	18,571,540
固定負債		
長期借入金	4,401,778	4,616,414
リース債務	669,716	701,979
繰延税金負債	24,755	24,066
役員退職慰労引当金	131,898	113,234
退職給付に係る負債	4,269,945	4,245,654
資産除去債務	340,799	344,947
その他	454	—
固定負債合計	9,839,348	10,046,297
負債合計	28,385,806	28,617,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	12,102,942	10,748,144
自己株式	△30,798	△30,848
株主資本合計	15,996,753	14,641,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	599,494	673,960
為替換算調整勘定	△143,536	△123,233
退職給付に係る調整累計額	△151,087	△91,530
その他の包括利益累計額合計	304,869	459,196
非支配株主持分	2,129,847	2,142,541
純資産合計	18,431,470	17,243,643
負債純資産合計	46,817,276	45,861,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	20,562,286	14,609,414
売上原価	17,978,987	14,113,576
売上総利益	2,583,298	495,838
販売費及び一般管理費	2,146,898	1,841,547
営業利益又は営業損失(△)	436,400	△1,345,709
営業外収益		
受取利息	9,063	4,825
受取配当金	32,176	28,846
為替差益	—	5,543
助成金収入	—	177,953
作業くず売却収入	15,651	9,735
雑収入	29,522	22,251
営業外収益合計	86,414	249,155
営業外費用		
支払利息	155,920	106,640
固定資産除却損	44,273	31,217
為替差損	39,262	—
稼働停止に伴う費用	—	98,116
雑支出	7,396	53,413
営業外費用合計	246,853	289,389
経常利益又は経常損失(△)	275,961	△1,385,943
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	275,961	△1,385,943
法人税等	180,526	△297,139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	95,435	△1,088,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,877	89,955
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26,557	△1,178,759

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	95,435	△1,088,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,757	74,466
為替換算調整勘定	△353,177	48,219
退職給付に係る調整額	28,323	59,553
その他の包括利益合計	△292,096	182,238
四半期包括利益	△196,661	△906,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△125,786	△1,024,369
非支配株主に係る四半期包括利益	△70,874	117,804

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報)

1. 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,576,690	980,340	20,557,031	5,255	20,562,286	—	20,562,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,576,690	980,340	20,557,031	5,255	20,562,286	—	20,562,286
セグメント利益	1,255,120	279,555	1,534,675	2,828	1,537,503	△1,101,103	436,400

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,101,103千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,972,263	632,128	14,604,391	5,022	14,609,414	—	14,609,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,972,263	632,128	14,604,391	5,022	14,609,414	—	14,609,414
セグメント利益 又は損失 (△)	△525,119	115,002	△410,117	2,882	△407,234	△938,474	△1,345,709

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電に関する事業です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△938,474千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。